

## 2021 年度第 2 回 CTK 放送番組審議会(書面審議) 概要

会 長	海道 清信	名城大学都市情報学部名誉教授
副会長	伊藤 佳林	子育て支援ネットワーク「コネット」メンバー
委 員	林 雅恵	可児市市長公室秘書広報課
	田中 由美子	御嵩町総務部企画課秘書広報係
	梅田 真弘	可児青年会議所理事長(2020 年)
	大脇 慶二	(株)サカエ屋 代表取締役
	細野 裕子	中山道案内人歴人会 (敬称略)

項 目	主 な ご 意 見
「輝け！笑顔の子どもたち」～今渡北小学校～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で参観日なども少なく学校生活の様子が見えにくい今、子どもたちの学校での元気な様子が見られて良い。子どもたちの表情、動き、話が生き生きとされていてとても良かった。</li> <li>・各学年のリーダーに感想を聞いたこと、保護者にインタビューしたことなど、番組構成の工夫を感じた。</li> <li>・最終学年の6年生運動会を見たいと思った。また、練習の映像があればよかった。</li> </ul>
「アルバムの記憶」～倉田真弓さん(御嵩町)～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムを見ながらぼつりぼつりと自身の半生を語るという構成で、こちらも一緒にアルバムを見て近くで話を聞いているような感覚になった。自分のやりたいことを見つけて楽しみながらやってきたことで、辛いことも乗り越えて来られたと話す倉田さんの姿は、こちらも前向きな気持ちにさせてくれた。</li> <li>・可児・御嵩町の人材は地域の資源になるので、もっともっと取材を通して発掘して欲しいと思う。これこそ！地域密着型の CTK ができる内容だと思う。</li> <li>・インタビューの様子が亚克力板に映り込んでいたのが気になった。照明の工夫などで対応できるとよい。</li> </ul>
「そらさんぽ」 ～赤い電車が走るまち 可児市・御嵩町～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンがうまく使われていて、時々地上からの撮影もあって、良くまとめられていた。赤い電車の走る様子と上空からの街の様子が楽しいと思った。</li> <li>・自分たちが住んでいるところをドローンで上空から見る景色という点で興味を持てる。気持ちの良い映像で何も考えずに見続けることができた。細かい情報を MEMO から学ぶことができた。</li> <li>・コロナ禍で人に対する取材に制限がある時にドローンによる撮影は良案の番組だと思う。</li> <li>・音楽はアップテンポだったが、もう少しゆったりしたものでも雰囲気が出て良いかもしれない。</li> <li>・走る電車、広見線の鉄道にもっと焦点を当てると、鉄道好きにも興味深いかもしれない。</li> </ul>
CTK12 チャンネルと 11 チャンネルの番組全体についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候が気になる時、「お天気チャンネル」を必ず見る。</li> <li>・今後とも変わらず地域の情報を発信してほしい。</li> </ul>
番組以外で CTK 全般についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報誌と一緒に CTK の番組表が配布されるのはとても良い取り組みだと感じる。</li> <li>・教育評論家の講演会を紹介した番組は、小中学校の PTA 活動に活用するとよいのではないかと。➡可児市の広報番組で取り上げたため、市担当部署にご意見をいただいた旨を伝えます。(CTK 担当)</li> </ul>